

1. インターバンク市場

8/31~9/4の無担保コールO/N加重平均レートは、31日はレポGCRレートの低下が意識されたのか、0.071%と若干低下した。9月に入ると0.07%台半ばでの出合いが中心となり、大きいロットの取引では0.07%台後半の出合いも見られるなど、ほぼ先月並みの水準まで回復した。4日は週末要因でやや強めの展開となり、一部では0.078%の出合いも見られた。ターム物は、大手行から1~2W物の調達が見られたほか、証券業態のロール案件が数件見られた。4日の日銀当座預金残高見込みは233兆4,000億円となり、過去最高を更新した。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、2日に3M・15,000億円、3日に3M・8,000億円、4日に3M・15,000億円がそれぞれオファーされた。応札額はそれぞれ8,210億円(期落ち分7,210億円)、580億円(期落ち分700億円)、9,160億円(期落ち分7,160億円)と、いずれも札割れの結果となった。

9/7~11のインターバンク市場は、10日のTB6M発行超過等の資金需給要因が見込まれる。国債買入オペの実施を加味すれば、週全体の需給はほぼトントンとなる見通し。無担保コールO/Nは積み期間の終盤を迎えることで、調達意欲が高まる可能性も考えられる。一方で、レートは0.07%台後半で高止まりの展開となっており、さらなる上昇余地は限られると予想される。主要なイベントとしては、8日の4~6月期のGDP2次速報、9~10日のMPC等が挙げられる。

2. オープン市場

8/31~9/4の短国市場は、短国買入オペのオファー額が8月28日実施分(スタート日は9月1日)から減額がなされたことで、一頃の加熱感は無くなった。一方で、中間期末越えの物の需要は強く、3M程度の期間は小幅マイナスから0%の範囲で推移した。6M物、1Y物は発行額の大半が買入オペに持ち込まれていることもあり、特段の出合いは見られなかった。短国の入札は、3日に3M物が実施された。WI取引で▲0.006~▲0.004%の出合いが見られたことで、平均落札利回りは▲0.0032%と強めになったものの、按分落札利回りは0.000%(按分率0.8453%)と概ね事前予想通りの結果となった。事前予想通りとなったことから、セカンダリーでは▲0.001~0.000%の出合いが見られた程度であった。4日に実施された短国買入オペは、前回は2,000億円減額の6,000億円がオファーされ、平均利回較差+0.002%、按分利回較差±0%と概ね市場実勢水準の落ち着いた結果となった。

8/31~9/4のCP市場は石油、鉄鋼、商社業態から大型発行案件が見られたものの、週を通して発行件数が少なく、週間発行総額は4,000億円程度となり、償還額4,500億円程度を下回った。8月末の発行残高は15兆9,386億円となり、前月末残高(16兆5,188億円)より減少した。発行レートは、9月末越え物は運用ニーズの高まりから小幅低下した。一方、月内償還物は需要が低く、期越え物に比べると高めの水準となっていた。期越え物の発行レートは、a-1+格で0.08%前後、a-1格で0.085~0.095%程度であった。CP等買入オペは3日に実施された。前回から1,500億円増額の5,000億円がオファーされたこともあり、各落札利回は平均0.083% 按分0.075%と、前回(0.086% 0.084%)から低下した。

9/7~11の短国市場は、8日に6M物、10日に3M物の入札が実施予定となっている。今月は短国買入オペが減額となっていることから、慎重な入札が予想され、落札水準が注目される。CP市場は特段のイベントが見当たらないが、3日の増額されたオペの結果を受け、発行レートに変化が見られるか注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,600億円程度の還収超見通し。財政等要因は、10日のTB6M発行超過等があり、2兆6,500億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆4,900億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<7日>TB3M;償還51,600億円・発行51,000億円 / 流動性供給;発行3,000億円<9日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円<10日>TB6M;償還10,500億円・発行35,000億円 / 物価連動10Y;償還500億円<11日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
9/7(月)	1,600	△ 7,500	△ 5,900	全店共通(固) CP買入 国債補完供給	△ 700 △ 200 300	600	0	△ 5,900
9/8(火)	1,000	1,000	2,000	全店共通(固) 国債買入 短国買入 CP買入	△ 7,200	9,200 4,500 6,000 5,000	17,500	19,500
9/9(水)	1,000	1,000	2,000				0	2,000
9/10(木)	0	△ 22,000	△ 22,000				0	△ 22,000
9/11(金)	△ 2,000	1,000	△ 1,000	全店共通(固)	△ 5,600		△ 5,600	△ 6,600
週間合計	1,600	△ 26,500	△ 24,900		△ 13,400	25,300	11,900	△ 13,000

(注) 上表の9/7は日銀予想、9/8以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/7(月)	8月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 7月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)		米国休日(Labor Day)
9/8(火)	4~6月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 7月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 7月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 8月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	TB6M 35,000億円 9/10発行	30Y 8,000億円 9/24発行
9/9(水)	8月のマネーストック(日銀 8:50) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)		MPC(英中銀金融政策委員会,1日目)
9/10(木)	7月の機械受注統計(内閣府 8:50) 8月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB3M 51,000億円 9/14発行	5Y 25,000億円 9/24発行
9/11(金)	7~9月期の法人企業景気予測調査季報(内閣府・財務省共管 8:50) 7月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50)	エネルギー 対策借入 6,000億円 9/24借入	8月の米財政収支 8月の米生産者物価指数 9月のミンガン大消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。